

日本語「～てください」と韓国語「要求表現」の比較

蟹江美幸*

miyukikanie@yahoo.co.jp

〈目次〉

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 研究の背景と目的 | 4.4 ~주시기 바랍니다 |
| 2. 研究方法 | 5. 韓国語依頼表現の方略 |
| 3. 先行研究 | 5.1 ~야 되다 ~야 하다 |
| 3.1 「～てください」の問題点 | 5.2 ~면 됩니다 ~면 안됩니다 |
| 3.2 背景にある要因 | 5.3 ~면 좋겠다 |
| 3.3 依頼に関する日韓高校生の意識調査 | 5.4 ~할 수 있을까요? |
| 4. 「～てください」に相当する韓国語表現 | 5.5 ~을게요 |
| 4.1 丁寧な命令 ~세요 ~십시오 | 5.6 ~시지(요) |
| 4.2 依頼 ~주세요 ~주십시오 | 6. 日本語依頼表現の方略 |
| 4.3 会話の中の~세요 ~주세요 ~십시오
の使い分け | 6.1 敬語+a表現 |
| | 7. 結論 |

主題語: ～てください(～tekudasai)、くれる(give)、要求(request)、失礼な(impolite)、丁寧(polite)

1. 研究の背景と目的

韓国語話者が「～てください」を使用する場面でマイナスの印象があると、先行研究で報告されている。韓国語話者の日本語が、話し手の意図しないところで、時に傲慢に聞こえたり、押しつけがましい印象を与える原因はどこにあるか、言語の背景にある要因と、韓国語の「～てください」に相当する要求表現から考察する。受け取り側の日本語話者が不自然であると感じない、要求表現の提案につなげることを目的とする。

* 愛知淑徳大学大学院 博士後期課程

2. 研究方法

韓国語話者の「～てください」表現が、マイナスの印象を与える原因を明らかにするため、韓国語教材などから抽出した「～てください」に相当する要求表現¹⁾の韓国語訳と日本語訳を比較対照した。また依頼授受の場面で日韓の意識の相違を明らかにするため、日韓高校生意識調査を実施した。これらの結果から、日本語の丁寧表現として不適切となる原因について、表現とその根底にある文化の差異から分析し、不適切となる依頼表現の原因を検証する。

3. 先行研究

3.1 「～てください」の問題点

日本人は実生活の中で、断定的、直接的な表現を避け、むしろ消極的、婉曲的な表現を好んで使う傾向があるが、直接的、断定的にいいう習慣のある国民は、この日本語のニュアンスがつかめず、そのままストレートに自分の感情を日本語で表していることがよくある(小林, 1999)。文化差、言語差が原因で誤解が生じる恐れがある。

例えば、「～テクダサイ²⁾」に相当する朝鮮語³⁾は、日本語に直訳すると同じ待遇レベルになかったり、失礼に響いたり、時には依頼表現として通用していないという現象がある。その原因是、日本語の「～テクダサイ」に代表される授受動詞の使用範囲が、話者の利益を目的とする厳密な意味での依頼だけでなく、指示、勧め、勧誘にまで広く分布しており、朝鮮語では依頼か指示、勧めを授受動詞使用の有無だけで決定していることにある(河村, 1999)。

韓国語は、利益や恩恵を受ければ依頼表現であり、話し手が利益や恩恵を受けなければ丁寧な命令で表現する。つまり、話し手が聞き手に「お願いします」「頼みます」という気持ちを持っているかどうかが、～하세요と～해 주세요を使用する基準となる(李, 2006)。

1) NHK アンコール ハングル講座テキスト(2008年度パート I、パート II、2009年度パート I)、韓国語マラソン(1巻~6巻)など中級以上の韓国語教材、韓国映画シナリオから抽出した147例のうち29例を本稿で用いた。

2) カタカナ表記「～テクダサイ」は河村の表記に従った。

3) 「朝鮮語」という呼称は河村の表記に従った。

一方、教科書どおりの「～ください」表現が日本語では失礼な印象を与えることがある。そもそも、依頼⁴⁾とは、人に用件を頼むことであり、命令とは上位の者が下位の者に対して、あることを行うように言いつけることである。つまり、依頼も命令も、話し手の要求することを、聞き手に言葉で伝え、聞き手にその行動をさせることであるが、現代日本語においては、命令を上位者に対して使うことは丁寧であるとは言えない。

庵、高梨、中西、山田(2011)によれば、日本語では依頼も丁寧な命令も「～てください」で表現されるが、聞き手に決定権を委ねる依頼には不適である。また「～ください」は「くれる」「与える」の尊敬語「くださる」が命令形になったものであるため、恩恵の意味が含まれており、もっぱら依頼を表わすのに使われる形式で丁寧形であるが、直接的な表現であるため、頼むのが当たり前でない場面で用いると失礼な感じを与える。

現代日本語では、尊敬の命令形であっても上位者に対しては用いることができず⁵⁾、受益表現⁶⁾を用いる必要がある。さらに、話し手に対する恩恵がある時は受益表現で表示するという語用論的制約がある(森、2010)。金田一(2002)によれば、「ご住所をおっしゃってください」という言い方はとても丁寧な言い方であるように聞こえるが、内容を普通の言い方に変えれば、「住所を言ってください」と言っているだけで、相手に対する尊敬を表わしておらず、命令をしていることであり、言葉を丁寧にしても決して丁寧な意味にならない。

韓国人学習者向けの『日本語文型辞典』によれば、「お～ください」は、「お+動詞の連用形+ください」の形で、相手に丁寧に勧誘する表現である。実際の教室活動の中でも、「～てください」を「お～ください」に変換するドリルがあり、学習者は「お～ください」は「～てください」の単なる丁寧な表現と理解する危険性があるという。だが、「お～ください」は「～てください」の単なる丁寧形ではなく、全く同じ機能を持つとは言えない⁷⁾(小寺、早川、山本, 1995)。

日本語教育では初級前半の「て形」学習の際、「～ください」が依頼として扱われることが多いため、学習者は自分が発話する「教えてください」を延長し、「～てください」は依頼全般に使用できる表現だと判断し、上級レベルになってもそれが修正されない場合が見受けられ

4) 山田(2013)は、依頼している本人にとって利益になっていない「依頼」を「促し」という語で表現している。

5) 現代語では上位者に対して「～なさい」など尊敬語の命令形のみで行為指示を行うことはできない。

6) 森(2010)では、受益表現という語を使用しているが、本稿では授受表現と呼ぶ。

7) 「お～ください」は、「人」を「を格」「に格」でとる動詞に限り、受益性があるが、本来は受益性がないため、「持ってください」→「お持ちください」、「シャッターを押してください」→「シャッターをお押し下さい」のような変換ドリルは、丁寧な依頼とならないため注意すべきである(小寺、早川、山本, 1995)。

る。誤用の原因は、学習者が「~てください」が指示であることを知らないためであり、依頼をする場合は、当然の依頼⁸⁾の場合であっても、失礼さの要因がない、緩和表現を使うことを提案している(関根, 2007)。

日本語の依頼表現にはバリエーションがあり、それはとても複雑である。日本語母語話者と異なる母語や文化的背景を持った学習者にとっては、どの依頼表現を使用するかを選択することは、大変困難なことであり、上級者になっても誤用が目立つ(奥山他 3名, 2007)のが現状である。しかし、失礼や不自然の原因となる、特定の母語とその文化的背景の影響に踏み込んだ先行研究は見当たらない。

敬語の使用基準が日本語と韓国語では異なる。日本語では対人関係に心理的距離感が大きく作用し、恩恵関係や役割関係が敬語行動を決める重要な要因になっているが、韓国語の敬語で基準になるのは年齢の上下の概念であり、一度定まった関係は心理的距離感によって変わったりせず(韓, 2009)、親疎関係においては、親しい相手も親しくない相手も同様の依頼表現をしている(和田、堀江、北原、吉本, 2008)。

文法的には誤りでないが、会話において不自然な表現は、母語の言語習慣をそのまま他言語に適用する結果である。時にはそれが、聞き手に不快な感じを与える場合があり⁹⁾、敬語を使用し、配慮を示したつもりが、失礼になる危険性がある。意味の上の丁寧さは考慮しなければならず、間違った敬語表現を用いたり、敬語表現を必要とする場合で使用できなかつたりする場合よりも、話し手と聞き手の間に大きな摩擦や、トラブルを引き起こす恐れがある(李, 2004)ため、特に注意が必要である。本研究は「~てください」が傲慢に聞こえたり、押しつけがましい印象を与える原因が、話し手の意図するところではなく、母語や背景となる日本と韓国の言語差と文化差にあるという仮説のもとに、負の干渉を起こす要因について言語と文化の二面から考察する。

3.2 背景にある要因

言語はその話者の世界観の形成に差異的に関与する、と言われるように、同じものを見たり聞いたりしても、そのものに対する認識や思考は、使用する言語によって大きく影響

8) 「依頼」とは話し手の利益のために何らかの行為をすること(しないこと)を聞き手に頼む表現であり、強制ではなく、決定権はあくまでも聞き手にあるものとして働きかける点が異なる(日本語文法ハンドブック, p.148)。

9) 有害なプラグマティックトランスファー(松田、金、李、朴, 2007)。

される。言語表現の背景には使用する母語の影響がある。言語は、文化、すなわち、社会的に相続され、われわれの生活の特質を決定する風俗や信念の集合から離れて存在はしない(エドワード・サピア, 1998)。つまり、韓国語話者が依頼をする場面においては、韓国語話者の価値観、日本と韓国の文化差が行動となって現れる。そして、韓国語話者が日本語で依頼表現を使用する場合にも、韓国式価値観、韓国文化、韓国語依頼表現の影響が現れ、話者が意図しないところで、聞き手の日本語話者との間で誤解につながる可能性がある。

3.2.1 日韓の授受動詞

日本語の「あげる」「くれる」「もらう」などの動詞を授受動詞といい、行為の授受について、補助動詞と同じ構造で使われる¹⁰⁾。韓国語の授受動詞は「あげる」「くれる」に相当する「주다」、「もらう」に相当する「받다」の2語であるが、「받다」には日本語の「～てもらう」に相当する補助動詞としての用法は存在しない。直接表現をせずに、人間関係や心的距離を「～てもらう」で表す日本語の恩恵を、韓国語で表現することは不可能である。

3.2.2 相対敬語と絶対敬語

日本語では目上の人に対して尊敬語を用いるが、他人の前で身内ことを話題にする場合、尊敬語を用いない。話し手と聞き手との関係で、同じ人に対しても尊敬語と謙譲語を使い分ける、日本語の敬語体系は相対敬語であり、相手に関係なく敬語の使用が一定である韓国語の敬語体系を絶対敬語という。3.1で述べたように、韓国語では、敬語を使用する基準は年齢であり、身内の家族や会社の上司に対しても、目上であれば敬語を使用するが、日本語では身内の者に対する敬語は不適切となる。

3.2.3 ポライトネスの相違

日本の対人関係は、形式を重んじ、言葉ではつきりと示すよりも相手に察してもらうことを期待する(津田, 1999)が、それに対し、韓国対人関係は言葉ではつきりと相手に伝える傾向があるように、両言語には正反対の価値観が存在する。

10) 岡田(2011)「授受動詞」pp.66-67より引用。

依頼とは相手に何らかの負担をかける行為であるため、日本語話者は、相手の行動を妨げることに遺憾の意を示しながら、心的距離をとりながら、遠慮がちに助力を願うネガティブ・ポライトネスを使用する。一方、韓国語話者は、遠慮はむしろ相手から不必要的心的距離をとることになり、親しさに水を差すインポライトな行為であり、家族のように親密に振る舞い、正直に甘え、お互いの絆に訴える、ポジティブ・ポライトネスを多用する(笛川, 1999)。津田、笛川の主張どおりであれば、韓国語話者と日本語話者のコミュニケーションの場で、韓国語話者は遠慮がちで心的距離がある日本語話者を、遠い存在であると感じ、疎まれているのではないか、と誤解するであろうし、日本語話者は、韓国語話者の率直な言動に戸惑うに違いない。ポライトネスの相違が、誤解や摩擦を引き起こす危険性が大いにある。

3.2.4 親しさの相違

「迷惑」と人間関係についての概念も日韓では異なる。日本人は「親しき仲に礼儀あり」と、どんなに親しくなっても相手に迷惑をかけないことが、相手に対する配慮であるが、韓国人は親しくなると、あるいは親しくなるためには相手にできるだけ迷惑をかける、あるいはかけてもよいという「親しき仲に迷惑あり」とよく言われる(洪, 2007)。

日本人と韓国人の間に生じる誤解について、違いが生じる背景には、親しい間柄での距離の取り方、すなわち、自分と相手の領域を意識するか否かということが関係しており、韓国では、親しい間柄ではお互いの領域に対する意識が希薄になる一方、日本では親しい間柄でもお互いに自分の領域に対する意識が強いと考えられる(生越, 2012)。

迷惑とは、ある行為がもとで、他の人が不利益を得たり、不快を感じたりすることであるが、その行為をさほど問題ないと考えたり、不快も感じなければ迷惑という言葉にはつながらない。親しさの認識のずれが誤解に結び付き、摩擦を引き起こす可能性がある。

3.3 依頼に関する日韓高校生の意識調査

依頼をする場面や依頼を受ける場面で、日本語話者と韓国語話者の意識がどのように異なるか、またその相違が生じる原因はどこにあるかを明らかにするため、日韓高校生意識調査を実施した¹¹⁾。質問内容は依頼に関する10項目。対象者は、韓国人高校生519名¹²⁾、日本人高校生104名¹³⁾。質問内容は、金銭的負担、個人情報、人との距離など、聞き手の負

坦度に差をつけた。①~⑤の質問に対して「頼む」「頼まない」の2者択一、⑥~⑩は依頼された時の回答として「構わない」「少し嫌だ」「嫌だ」の3者択一。質問内容と結果¹⁴⁾は表1、表2、表3で示すとおりである。

<表1> 「頼む」と答えた割合

(単位: %)

質問	韓国人	日本人
① 海外旅行に行く友人にお土産を頼めるか?	94.6	37.5
② 10000ウォン貸してと頼めるか?	82.5	25.0
③ 授業中にシャープの芯を貸してと頼めるか?	94.8	74.0
④ スマホを忘れたので貸してと頼めるか?	94.0	39.4
⑤ 友人のペットボトルの水をくれと頼めるか?	89.2	43.3

<表2> 依頼されたとき 韓国人高校生結果

(単位: %)

質問	構わない	少し嫌だ	嫌だ
⑥ 友人に海外旅行のお土産を頼まれたとき	83.8	8.5	7.7
⑦ 10000ウォン貸してと頼まれたとき	79.6	11.6	8.9
⑧ シャープの芯を貸してと頼まれたとき	92.7	3.7	3.7
⑨ スマホを貸してと頼まれたとき	59.0	28.5	12.5
⑩ ペットボトルの水をくれと頼まれたとき	85.9	7.9	6.2

-
- 11) 調査結果報告として2013年10月21日「『依頼』についての意識調査—괜찮다の意識—」を慶尚北道日本語教師研究会で口頭発表した。
- 12) 韓国人高校生519名(男子327名、女子192名)は韓国慶尚北道の高等学校における日本語学習者。調査高校は6校、調査期間は2013年8月26日~8月30日。すべて韓国語母語話者。
- 13) 日本人高校生104名は著者が勤務する日本の高等学校生(男子47名、女子57名)。調査期間は2013年9月4日~9月19日。すべて日本語母語話者。
- 14) ①から⑤の「頼む」と答えた日韓の割合を、有意差検定にかけた結果は以下のとおりである。
- ① は統計量Z=14.91であり、57.1ポイントの差に有意差が見られた。(有意水準1%)
 - ② は統計量Z=17.24であり、57.5ポイントの差に有意差が見られた。(有意水準1%)
 - ③ は統計量Z=6.88であり、20.8ポイントの差に有意差が見られた。(有意水準1%)
 - ④ は統計量Z=14.68であり、54.6ポイントの差に有意差が見られた。(有意水準1%)
 - ⑤ は統計量Z=11.01であり、45.9ポイントの差に有意差が見られた。(有意水準1%)

<表3> 依頼されたとき　日本人高校生結果
(単位:%)

質問	構わない	少し嫌だ	嫌だ
⑥ 友人に海外旅行のお土産を頼まれたとき	55.8	30.8	13.5
⑦ 1000円貸してと頼まれたとき	51.9	34.6	13.5
⑧ シャープの芯を貸してと頼まれたとき	89.4	3.8	6.7
⑨ スマホを貸してと頼まれたとき	36.5	45.2	18.3
⑩ ペットボトルの水をくれと頼まれたとき	54.8	31.7	13.5

表1の結果のように、韓国人高校生は日本人高校生より「頼む」と回答する傾向がかなり高く、依頼をすることに関して積極的である。表2、表3を比較対照すると、韓国人高校生は、依頼を受けることに対して、「構わない」と答える傾向が日本人高校生に比べて明らかに高い。これらの結果から、韓国人高校生は依頼の授受に関して積極的なことがわかる。追加調査において、日本人高校生は人にものを依頼する場合、「迷惑をかけたくない」という、気持ちの負担があり、また逆に、依頼された場合も、やはりなんらかの負担を感じたと答えた。この結果は韓国慶尚北道の高校生と日本の一高校の高校生に限定したものであり、一般化はできないが、日韓若者の依頼に関する意識の相違を顕著に示していると考える。

意識差が生じた原因是、日本の社会では「割り勘」や「お返し」など相手への負担と自分の負担のバランスを気にかける傾向があることであり、依頼の場面でも何らかの計算が生じ、それを煩わしく感じるため、依頼を受けない代わりに、依頼もしない。それに対して、韓国社会では一般的に、「割り勘」の考え方ではなく、冠婚葬祭や日常で、もてなしを受けた場合でも、その場でありがたい気持ちを述べれば、繰り返しお礼を言う必要はなく、「お返し」の習慣もない。心の中で貸し借りのバランスを取るための「駆け引き」がなく、依頼の授受に関して淡泊である。

4. 「~てください」に相当する韓国語表現

日本語の「ください」は動詞「くださる」の命令形で、「くださる」は「あたえる」「くれる」の尊敬語である。つまり、「ください」は「くれ」の尊敬語である。日本語で「~てください」と訳

される韓国語は、うちとけた丁寧な命令形4.1.1.かしこまったく丁寧な命令形4.1.2.とうちとけた依頼4.2.1.かしこまったく依頼4.2.2.の4タイプがあり、教材の日本語訳では「～てください」が充てられている。以下に4例を示す。

4.1 丁寧な命令 ～세요 ～십시오

韓国語では、～세요はうちとけた丁寧な命令形であり、～십시오¹⁵⁾は、かしこまったく丁寧な命令形である¹⁶⁾が、日本語ではどちらも「～てください」となる。～십시오は尊敬の意を伴うため、丁寧な命令形「～なさい」、「お/ご～なさい」と日本語にする傾向がある。3.1で述べたように、日本語においては、丁寧であっても、命令形は上位者に使用するには適切ではなく、丁寧な表現であるとは言えない。

任、井出(2009)によれば、～세요(～てください)は、形態上は命令形を取る終結語尾で、本来は女性のみが使う表現であったが、現在では男女の区別なく、親しい相手への命令や依頼をやわらかく表す際に用いられているとし、맛있게 드세요(おいしく食べてください)などの例を挙げ、韓国語の挨拶表現を豊かにする上で欠かせない表現の一つである。韓国語では、안녕하세요(こんにちは、おはようございます、こんばんは)、안녕히 가세요(さようなら)、안녕히 주무세요(おやすみなさい)などと、基本挨拶表現で命令形が多く使用されるように、丁寧な命令形は上位者にも使用できる丁寧な表現であり、失礼な印象を与える表現ではない。

4.1.1 うちとけた丁寧な命令 ～세요の例

以下の電気店にカメラ用のメモリーを買いに来た客Aさんと店員の会話では、비디오 카메라라면이 상품을 사세요.(ビデオカメラならこの商品をお求めください。)と、うちとけた丁寧な命令形～세요は店員が客に対して使用できる表現であることがわかる。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| A: օ] 5기가 메모리 얼마예요? | この5ギガのメモリーいくらですか。 |
| B: 10만 원입니다. 카메라용이에요. | 10万ウォンです。カメラ用ですよ。 |
| A: 비디오카메라에도 쓸 수 있어요? | ビデオカメラでも使えますか。 |

15) 李(2006)によれば、聞き手に押し付ける意味合い。(「～てください」に近い)

16) 菅野(1996)によれば、-세요は「親しさの上称形」である。

B: 비디오카메라라면 이 상품을 사세요. ビデオカメラならこの商品をお求めください。

그것은 용량이 좀 작아요.

それは容量がちょっと小さいですよ。

(アンコールまいにちハングル講座 2009年度 第4回, p.25)

4.1.2 かしこまったく丁寧な命令 ~십시오의例

以下のラジオコマーシャルでは、最後、聴者に「 기대하십시오. (ご期待ください)」と、かしこまったく丁寧な命令形で呼びかけている。日本語訳では、「ご~ください」と丁寧の接頭語「ご」が現れている。飛行機の中の機長の挨拶でも、 편안한 여행 되십시오. (くつろいだご旅行をお楽しみください)と、日本語訳には、丁寧の接頭語「お」が使用されていることがわかる。だが、3.1で述べたように、「お~ください」は「~てください」の単なる丁寧語ではないことに注意を払わなければならない。

당신에게 청춘을 돌려 드립니다.

再びあなたに青春をお届けいたします。

올해 최고의 사랑과 눈물의 걸작.

今年最高の愛と涙の傑作。

12월 14일 대개봉. 배준상의 최신작.

12月14日大公開。ペ・ジュンサンの最新作。

“파리, 겨울의호텔”. 기대하십시오.

「パリ、冬のホテル」。ご期待ください。

(アンコールまいにちハングル講座 2009年度 第55回, p.230)

오늘도 저희 코리아나항공을 이용해… 本日も私どもコリアナ航空をご利用……

——(途中省略)——

도착할 때까지 편안한 여행 되십시오. 到着するまで、くつろいだご旅行をお楽しみください。

(アンコールまいにちハングル講座 2009年度 第15回, p.69)

4.2 依頼 ~주세요 ~주십시오

韓国語で謙譲の意味をあらわす場合は、謙譲補助動詞~주다をつけて、~주세요(4.2.1)、주십시오(4.2.2)、と表現する。주다는主語が他人のためにその行為をなすことを表し、~주세요、주십시오は「依頼」の意味を持つ。だが、うちとけた丁寧な命令形の~세요も、依頼の~주세요も、日本語には「~ください」と訳される。さらに~주십시오は高い敬意を表す表現であるが、通常の会話において使用する場面は少ない。

4.2.1 うちとけた依頼 ~주세요의例

俳優のAさんが新作映画のキャンペーンでインタビューを受けている場面の会話で、俳優のAさんは、今週末に公開される映画を見てもらうことで、利益があるため、 기대해 주세요(期待してください)と、~주세요を使用していることがわかる。

- B : 청춘영화는 처음이시죠? 青春映画は初めてですよね。
A : 네, 테마는 눈물하고 이별입니다. ええ、テーマは涙と別れです。
스토리가 너무 좋아서 출연하게 됐어요 ストーリーがとても良くて出演することになりました。
B : 팬들에게 한 말씀 부탁합니다. ファンに一言お願ひします。
A : 이번 주말에 개봉합니다. 기대해 주세요 今週末に公開されます。期待してください。
(アンコールまいにちハングル講座 2009年度 第52回, p.217)

4.2.2 かしこまったくの依頼 ~주십시오의例

『日本人のための韓国語文法』によれば、 주다、 드리다は本動詞に奉仕の意味を加える補助用言であり、話し手の奉仕的な行動に対して、聞き手に許諾や許可を求めようとする場合、~드릴까요?と尋ねた場合の肯定的な答えは~주십시오!¹⁷⁾とされている。~주십시오は日常会話では現れにくい。

- 가) 수학을 가르쳐 드릴까요? 数学を教えて差し上げましょうか。
나) 네, 가르쳐 주십시오. はい、教えてください。
가) 제가 그리로 안내해 드릴까요? 私がそちらへ案内して差し上げましょうか。
나) 예, 그렇게 해주십시오. はい、そうしてください。
(日本人のための韓国語文法 p.351)

17) 白(2006)によれば、「주시요」は、必ず尊敬形語尾-ㅅ-をつけて(으)십시오の形で使い、謙譲の意味をあらわすためにには-어(아/여)주다'をつけ、「-어(아/여) 주십시오'を使う。

4.3 会話の中の ~세요 ~주세요 ~십시오의使い分け

以下の例文は観光客が、初対面のハンヌリに道を尋ねる場面である。観光客は、教えてもらうことで、恩恵を受けるため、依頼の意味を持つ表現、 주다を使用して 가르쳐주세요(教えてください)とうちとけた依頼形で相手に頼む。それに対して、ハンヌリは、곧장 가세요(まっすぐ行ってください)、왼쪽으로 도세요(左に曲がってください)のように、うちとけた丁寧な命令形の~세요を用いている。だが、目的地への道が少し難しく、最後まで説明をすることができず、途中で他の人に、 다시 물어보십시오(聞き直してください)と、すまない気持ちの表れか、かしこまったく丁寧な命令形にシフトしている。結局、観光客には道の説明が伝わらず、一緒に目的地まで案内することになり、저랑 같이 가세요(私と一緒に行ってください)とうちとけた丁寧な命令形で答えている。このように、同じ会話の中で同じ相手に対しても、~세요、~주세요、~십시오を使い分けている¹⁸⁾ことがわかる。日本語でそれらの表現はすべて「~ください」で対応しているが、観光客は依頼するのに当然な場面の依頼「ください」を使用しており、道を教えるハンヌリは、丁寧な命令形「ください」を使用して依頼に応じている。

관광객 : 저, 실례지만 말씀 좀 물겠는데요. 이 근처에 편의점이 있으면 좀 가르쳐 주세요.
 한누리 : 먼저 이 길을 다음 신호까지 곧장 가세요. 그리고 그 신호에서 왼쪽으로 도세요. 그러면 오른쪽에 우체국하고 은행이 있어요. 그 뒷 쪽인데 길이 좀 어려워요. 그러니까 거기서 다른 사람한테 다시 물어 보십시오.
 관광객 : 나는 일본에서 온 관광객이라서 지금 설명도 잘 모르겠어요.
 한누리 : 그럼 저도 마침 그쪽 방향으로 가니까 저랑 같이 가세요.

観光客：あのう、失礼ですが、ちょっとお尋ねします。この近くにコンビニエンスストアがありましたら、ちょっと教えてください。
 ハンヌリ：まず、この道を次の信号でまっすぐ行ってください。そして、その信号を左に曲がってください。そうすると右側に郵便局と銀行があります。道が多少難しいです。ですので、そこではほかの人間に聞き直してください。
 観光客：私は日本から来た観光客なので、今の説明もよく理解できません。

18) 韓国では普通、対話の中で格式体(儀礼的であり、表現が直接的かつ客観的であるため、公式的な場または話し手と聞き手が親密な間柄ではなく、よそよそしい関係である場合に用いられる)と非格式体(あまり格式張らず柔らかく主観的な感じを与え、非常に親しい間柄や親近感のある聞き手に用いる)を混ぜて用いる(任, 2007)。

ハンヌリ：それなら私もちょうどそちらの方向に行きますので、私と一緒に行ってください。
(行きましょう¹⁹⁾ (アンコールハングル講座 2008年度 37回, p.89)

4.4 ~주시기 바랍니다

地下鉄の案内、空港の案内など、公式アナウンスで使用される表現である。기다려주시기 바랍니다.(お待ちください)」の丁寧度はかなり高い。空港で飛行機の離着陸遅延の案内放送の場面の例文の日本語訳では「お~ください」が使用されている。

부산행 007편은 조금 지연되어
7시에 출발할 예정입니다.
2번 텁승구 앞에서 기다려 주시기 바랍니다.
釜山行き007便は少し遅れ、
7時に出発する予定です。
2番搭乗口の前でお待ちください。
(アンコールハングル講座 2009年度 第13回, p.61)

5. 韓国語依頼表現の方略

丁寧な命令形、～세요(うちとけた)、～십시오(かしこまったく)、と依頼の～주세요(うちとけた)、～주십시오(かしこまったく)以外にも「～ください」、またはそれに該当する依頼表現が見られる。韓国語では依頼の場面で使用され、特に問題がないが、日本語に直訳すると依頼表現としてふさわしくない。以下に表現例を挙げ、問題点を考察する。

5.1 ~야 되다 ~야 하다

A : 담배 피우려면 어디로 가야 돼요? タバコはどこで吸つたらいいですか。

19) が세요は「行きましょう」とも訳される。「～ましょう」は勧誘文である。勧誘文とは、話者が聞き手に行動を共にすることを勧誘し懇請する文である。話者と聞き手が分の主体になるが、主語を省略して述語だけで文章を作る。聞き手に敬意を払って勧誘する場合に‘-(으)ㅂ시다’、‘-(으)십시오’を使いこともあるが、‘-시지요’を使って話者を主語から除外し、相手の意思を尊重して勧誘することを示す。
例) 좀더 기다려 봅시다. もうちょっと待ってみましょう。

말씀을 낮추 시지요. そんな丁寧な言い方をしないでください。(白, 2006, p.22引用)

20) 바라다は「願う」の意味で、直訳すると、「待ってくださることを願います」となる。

B : 이안은 금연이니까 건물 밖으로 나가야 돼요.

この中は禁煙ですから、建物の外へ出てください。

(シャドウイングで学ぶ韓国語短文会話)

~야되다、~야하다は日本語に直訳すれば、「~ねばならない」である。건물 밖으로 나가야 돼요には「建物の外に出てください」と丁寧な命令形で日本語訳が充てられているが、タバコを吸う場所を聞いて、直訳の「建物の外に出なければならない」は、当然の義務であり、日本語では依頼表現ではない。

~야 되다、~야 하다という文型は、「~ナケレバナラナイ」という日本語に相当する義務、当然を表わす表現だが、朝鮮語では依頼の場面でよく使われる。朝鮮語から日本語へ、日本語から朝鮮語への翻訳を見ていると、~야 되다、~야 하다가「~ナケレバナラナイ」に対応していない例が多く、使用する場面を間違えると待遇上問題がある。だが、朝鮮語の ~야 되다、~야하다は日本語の「~ナケレバナラナイ」よりずっと丁寧な表現であり、直訳から感じるような非難のニュアンスはない(河村, 1999)。

5.2 ~면 됩니다 ~면 안됩니다

~면됩니다(~すればいいです)も~면 좋겠다と同様に、韓国語では依頼の場面で使用される。だが、直訳の「~すればいいです」は提案であり、依頼ではない。さらに「あなたがしたければ」の前置きの意味合いが含まれて、無責任な意味が伴う。教材では韓国語を直訳した日本語訳がつけられているが、適切ではない。この場合は、当然の指示であるため、丁寧な命令形で「窓口に行ってください」と表現しても問題はないと考える。

저기 있는 신청서에 기입해서 창구로 가시면 됩니다.

あそこにある申請書に記入して、窓口に行けばいいです。(韓国語マラソン)

절대로 여기에다가 손대면 안됩니다.

絶対ここには手を触れないでください。(直訳)絶対ここに手を触れたらダメです。

(しっかり身につく中級韓国語トレーニングブック)

~면 됩니다の否定形、~면 안됩니다(~してはいけない)の例文 손대면 안됩니다を日本語に

直訳すれば、「手を触れてはいけません」であるが、和訳として、「手を触れないでください」と現れている。「～してはいけません(だめです)」は禁止であり、「～しないでください」は丁寧な否定の命令である。

5.3 ~면 좋겠다

～면 좋겠다(～したらよいのだが)の합니다体、～면 좋겠습니다(～したらよいのですが)は、
例にも婉曲の意味があり、とても丁寧な依頼や願望を表わす表現(菅野, 1996)であり、韓国
語として使用される場合は、何の問題もない。日本語の「～てください」に相当する韓国語依
頼表現であるが、5.2の～면 됩니다と同様に、直訳した日本語は依頼としてふさわしくない。
韓国語話者からの依頼メールにもこの表現が使用されていた。

*連絡をくださったらよいです。

二人称を主語において、～면 좋겠다は、婉曲で丁寧な依頼表現とされるが、「～たらよい
のに」には、実現することはあきらめたというような、恨みがましいニュアンスが生じ、直
訳した日本語からは、相手への非難に聞こえることもあり、その丁寧さを感じることは
難しい(河村, 1999)と指摘がある。上の例は、韓国語の、연락 주셨으면 좋겠습니다. が直訳
されたものであり、「連絡をください」という依頼であれば、丁寧な命令形で表現すれば問
題はない。

5.4 ~할 수 있을까요?

依頼の場面で可能表現「～できますか」を使用する場合も見られる。以下の韓国語話者から
の依頼メールは、母語の～할 수 있을까요? の直訳が原因であると考えられる。すでに仕事
を了解している相手に対してのメールであるため、この日本語表現は不適切である。

*お願ひしたいですができるんでしょうか?

同様に映画のシナリオでも、「～いただけませんか」と授受表現で翻訳される例が見られた
が、元の韓国語は直訳すると「確認することができますか」の可能表現で現れている。

남편 분 문자 좀 확인할 수 있을까요?

(字幕)ご主人のメールを見せていただけませんか?

(直訳)ご主人のメールを確認することができますか?

(四月の雪, p.75)

丁寧に話すための運用的な方略は、言語によって異なることもあり、学習者が母語の運用的な方略を、そのまま日本語で用いてしまうと誤解を招くため、次のような注意が必要である²¹⁾。まず、答えがYesと分かっている簡単な内容の依頼をするとき、遠まわしに表現するために可能表現を使ってはいけない。さらに、可能形を疑問文で用いると、聞き手や第三者の能力を尋ねる文になるため、疑問形で可能を用いて依頼したり許可を求めたりすることはできない。つまり、能力を尋ねることは失礼となる。

5.5 ~을게요

~을게요(~するよ、~しますよ、~するからね)は、「ある行動をする意思表明」の意味である。日本語に直訳すると「トイレを使いますよ」となるが、教材の日本語訳では「~てください」とあり、日本語としてはこちらが自然である。これを 李(2006)は「発想の違い」としている。つまり、親しさの相違、ポライトネスの相違が原因である。

韓国語話者は人との心的距離が近いため、訪問先の家のトイレを使うことを丁寧に頼む必要はなく、「使うよ」と意志表明すれば十分であろう。だが、人との心的距離があり、相手に迷惑をかけることを好まない日本語話者は、意志表明ではなく、依頼表現を用いて「貸して」「貸してください」と表現することが自然である²²⁾と考える傾向がある。

화장실 좀 쓸게요

(和訳)トイレをちょっと貸してください。

21) 日本語文法ハンドブック(2011), pp.490-491 引用。

22) 注12の調査で、「初めて訪れた友人の家で、トイレに行きたくなったら、何と言いますか?」の質問に對して、日本人高校生106名(男子49名、女子57名)の回答結果は次のとおりであった。「借りるね(よ)(ね)(わ)(ぞ)」のように、意志表明したものは、11%、「貸して」「貸してください」など、依頼や丁寧な命令で答えたものは31%、「貸してくれる?」「貸してくれない?」「貸してもらえないか?」など授受表現を使ったものは、約半数の45%であった。女子の回答には「行っていい?」と、トイレに行くことに対して許可を求める表現がわずかであるが見られた。この表現については、著者が韓国で使用するたび、韓国人ネイティヴに「どうしてトイレに行くのに許可がいるのか?」と不思議がられ、からかわれる表現である。あたりまえのことで、許可されることが当然であっても、許可を求める表現を使用する、これも日本語の配慮表現の一つである。

(直訳) トイレをちょっと使いますよ。

(韓国語上達の近道, p.114)

5.6 ~시지(요)

~지요²³⁾は、相手が既知のことをさらに確認したり、相手に同意を求めたりするときに使う疑問形語尾であるが、~지요(~なのです)も、話し手が思っていることを聞き手も同意することを前提として、強い気持ちを表現するときや意思表示をするときに使う。さらに、それに尊敬の^ハが加わった、~시지요は丁寧な尊敬形として用いられ、日本語訳「～てください」で現れる。

叙述形の、~시지요は、~なさったら(どうですか)といった勧誘のような意味があり、非常に婉曲な、丁寧な命令を表わす(菅野, 1996)が、聞き手が同意していない場合に勧誘表現として使用すると、強引な印象がある。相手の立場を考慮するより、自分ができる限りのもてなしを精一杯することが最高の礼儀と考える韓国人(任、井出, 2004)に対して、相手がどうあるかという、相手に対する配慮を優先する日本人の価値観とは全く異なるため、使用する場面によっては摩擦が起きる可能性がある。

먼저 타시죠

先にお乗りください。

변변치 않지만, 받으시죠

粗末なものですがお受けください。

그만 돌아가지요

もう帰つたらどうだい。

(韓国語マラソン 6, p.24)

(朝鮮語辞典 例文)

6. 日本語依頼表現のための方略

たとえ敬語を使用していても、必ずしも丁寧な話しか方をしているとは限らず、聞き手に不快感を与える危険があるような発話²⁴⁾をする場合がある。聞き手と人との人間関係を円滑に運ぶために、その不快感を和らげて少しでも丁寧に話そうとする配慮の現れとして、

23) 話し手の強い意思を表現するか、ある事実を話しても聞き手も承知していることを表わすときに用いられる。「-지요」が「-조」に短縮されることもある。例) 遅れたから早くお行きください。 늦었는데 빨리 가시지요。(日本人のための韓国語文法, p.244 引用)

24) 聞き手に不快感を与える発話とは、① 聞き手に負担をかける働きかけ(命令、依頼、勧誘、禁止)、② 聞き手に否定的なことをいう発話、③ 聞き手の私的な情報に触れる発話である。

丁寧に話すための運用的な方略が用いられるという(庵、高梨、中西、山田, 2011)。

私たちが何気なく使い分けている敬語表現の根底にはある種の原理が働いており(丁寧さの原理)、だれが行動し、だれが決定権を持ち、だれに利益があるのかによって決まってくる。つまり、相手に決定権を委ね、自分が利益を受けてありがたいと表明するという原理に基づいている「あたかも表現」を使用することで丁寧さを表わす(蒲谷、川口、坂本, 2002)としている。相手に不快感を与えないコミュニケーションのためには日本語においては、「敬語+a²⁵⁾」表現が必要である。

～세요、～십시오、～주세요、～주십시오、に充てられた、初級テキストの日本語訳はほとんど直訳「～てください」であったが、中級以上のテキストやシナリオ翻訳では、以下に示す例のように、直訳ではなく、丁寧に話すための方略である「敬語+a」表現を伴った、その場にふさわしい、自然な日本語で現れる。日本語には「敬語+a」が必要である。

6.1 敬語+a表現

以下の例のように、中級以上の韓国語教材においては、自然な日本語訳の例が見られる²⁶⁾。例えば、「ください」に相当する～세요、～십시오の日本語として「お使いください」「お待ちください」のように丁寧な命令形「お召ください」「ご覧ください」のように「尊敬語、謙譲語、丁重語」+「ください」を使用することで丁寧表現としている例、丁重に頼んだり、心から願ったりする気持ちを表わす副詞「どうぞ」²⁷⁾を加え丁重な依頼にした例、丁寧の助動詞「ます」の命令形「～ませ」で、相手にその動作を要求しながら丁寧の気持ちを込めた例など、例文の韓国語を直訳するのではなく、自然な日本語会話に必要である、丁寧のための「敬語+a」が付加されている。

さらに、恩恵の意味が含まれている、～주세요、～주십시오、については、「～てください」を疑問形にシフトした「～してくださいますか」、「くれる」より丁寧度の高い「もらう」の丁寧形疑問文「～していただけますか」、さらに、否定疑問形に可能と推量をプラスした「～していただけませんでしょうか」、というように、場面や会話の相手に応じた、より丁寧度の高い表現が使い分けられている。終助詞「ね」を使用することで依頼表現を和らげ、親密さを加

25) aとは、丁寧の接頭語「お」、「ご」や終助詞の「ね」、授受表現などの緩和表現を示す。

26) 「木-数字」はアンコール毎日ハングル講座(木内明)とその頁、「野-数字」はアンコールハングル講座(野間秀樹)とその頁、「マラソン数字-数字」は『韓国語マラソン』の号数、頁である。

27) デジタル大辞泉から引用。

えている例も見られた。つまり、日本語では、丁寧に話すための方略として、疑問形、否定疑問形、「もらう」「いただく」などの授受表現、可能、推量表現などが必要であることがわかる。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. お好みに合わせてお使いください。 | 취향에 따라 사용하세요.(木41) |
| 2. しばらくお待ちください。 | 잠시만 기다리십시오.(マラソン3-51) |
| 3. お客様、こちらでお召しください。 | 손님, 이쪽에서 입어 보세요.(野267) |
| 4. メニューをご覧ください。 | 메뉴 보세요.(木85) |
| 5. どうぞお入りください。 | 들어 오십시오.(マラソン4-47) |
| 6. お話しくださいませ。 | 말씀 하십시오.(マラソン5-59) |
| 7. ちょっと例を挙げてくださいますか。 | 예 좀 들어주세요.(野223) |
| 8. 近くまでいらしたらお電話いただけますか。 | 근처에 오시면 전화주세요.(野151) |
| 9. すぐお電話いただけませんでしょうか。 | 꼭 전화 좀 주십시오(野183) |
| 10.もし見つからなかったらまた電話くださいね。 | 혹시 못 찾으시면 또 전화주세요. |

(マラソン6-99)

7. 結論

本稿では韓国語話者の「～てください」がマイナスの印象を与える原因を、言語と言語の背景にある要因から考察した。日本語と韓国語は言語構造が酷似しているが、コミュニケーションに支障をもたらす、文化的な背景や語用論的相違が存在する。文法的に正しい日本語を使用し、敬語を使用しているのに、話し手が意図しないところで誤解が生じる。

韓国語の丁寧な命令表現～세요、～십시오、依頼表現～주세요、～주십시오はどちらも日本語の「～てください」に言い換えられる表現である。「～てください」と直訳すると、日本語の依頼表現のような配慮が伝わらず、失礼な印象を与えてしまう場合がある。韓国語話者の「～ください」に現れる、韓国語の丁寧な命令表現は上位者にも用いることができる表現であり、決して失礼な表現ではない。だが、日本語ではたとえ丁寧な表現であっても、上位者に命令表現を使用することは失礼である。

韓国語話者の直接的な「～てください」表現が、使用する場面で失礼となる原因は、言語表現だけでなく、文化の相違も影響する。命令、依頼、勧誘のどれも、話し手の要求を相手

に伝え、相手の行動につなげる要求表現であるが、迷惑をかけることを好まず、言葉ではっきりと示さず、相手に察してもらうことを期待しながら、さらに心的距離を取り、遠慮がちに助力を願う、ネガティブ・ポライトネスを使用する日本語話者に対して、韓国語話者は、心的距離も近く、親しくなるために迷惑をかけることは決して悪いことではなく、言葉ではっきりと自分の要求を伝える、ポジティブ・ポライトネスを多用するため、接触場面で誤解や摩擦が起きる。また、年齢だけでなく、ウチとソトも敬語の基準とし、心理的距離によっても変化する日本語の相対敬語と、主に年齢を基準とする韓国語の絶対敬語は使用場面にずれも生じる。依頼に関する日韓高校生の意識調査の結果からも、韓国人高校生は依頼の授受に対して積極であるが、日本人高校生は「迷惑をかける」ことを回避し、依頼の授受に消極的であることが明らかとなった。

日韓には正反対の価値観が存在する。日本人は「言わぬが花」、「口は禍の元」など²⁸⁾、言いたいことがあっても、胸の内に収めて、自分の感情は外に出さないようにつとめることを美德とする一方、목이 떨어져도 할 말은 해야 한다。(首が落ちても、言うべきことは言わなければならない)と、韓国のことわざが示すように、韓国人は思考や感情は率直に言葉にして伝える傾向がある。依頼は日本人にとっては、貸し借りのバランスを取る負担が伴う行為であるため消極的になる傾向があるが、韓国語話者は依頼に関して積極的で、貸し借りについても淡泊であり、負担のバランスを取る必要もない。だが、謙虚さや婉曲表現を好み日本語話者には、韓国語話者の率直で積極的な要求がマイナスの印象を与えてしまう。

「~てください」と翻訳される韓国語は、丁寧な命令や依頼だけでなく、他の表現にもみられるが、日本語に直訳すると、当然の義務表わす表現、禁止、相手への非難に聞こえる願望の表現、聞き手の能力を尋ねる表現、同意していない場合に使用すると強引な印象を与える可能性がある。これらの表現は日本語の依頼としては不適切な表現である。しかし、それらは韓国語の依頼表現の方略であり、丁寧な表現であり、依頼として不適切ではない。ただ母語の表現が直訳となって日本語に現れる場合にのみ問題が生じる。

「~てください」表現を通して自分の要求を伝えることは可能であるが、相手に対して、その要求が受け入れられたらありがたいという、「恩恵」の気持ちは伝わらない。また、直接的な表現である。中級以上の教材の日本語翻訳では、配慮を表わすための「敬語+a」表現が多く見られることから、依頼をする場合、日本語話者は無意識のうちに、本音が依頼であることを包み隠しながら、配慮表現を使用することで、相手への「配慮」を表わしているこ

28) 他にも「沈黙は金、雄弁は銀」、「物言えば唇寒し秋の風」「雉も鳴かずば撃たれまい」などがある。

とがわかる。日本語の依頼の場面では「敬語+a」表現の使用が丁寧に話すための方略であり、韓国語依頼表現の方略との間には、大きな相違が存在することが明らかとなった。

【参考文献】

- 李承禧(2004)「待遇表現における意志・希望表現—韓国人日本語学習者の失礼な表現とそれを回避する方法—」『早稲田大学日本語教育研究』4
- 庵功雄高梨信乃中西久美子山田敏弘著、松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 庵功雄高梨信乃中西久美子山田敏弘著、白川博之監修(2011)『中級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 石黒圭(2013)『日本語は「空気」が決める 社会言語学入門』光文社新書
- エドワード・スピア著、安藤貞夫訳『言語』岩波新書
- 岡田英夫(2011)『日本語協力能力試験に合格するための基礎知識50』アルク
- 尾崎善光(2008)「第6章 依頼行動と感謝行動の日韓比較」尾崎善光編『対人行動の日韓対照研究 言語行動の基底にあるもの』, pp.141-196
- 岡本真一郎(2013)『言語の社会心理学 伝えたいことは伝わるのか』中公新書
- 奥山令織奈ジョンベンスクラート タッサワン許家純崔栄殊齊藤学(2007)『日本語学習者の電子メールにおける依頼表現の諸問題』日本語教育法研究会誌』14.2
- 生越直樹(2012)「言語行動の日韓対照研究」野間秀樹編著『韓国語教育論講座』2
- 河村光雅(1999)「日朝両言語における依頼表現の違い」『日本語・日本文化』25
- 河村光雅(2009)「第4章日韓対照」佐治圭三・真田真治監修『言語一般日本語教師養成シリーズ②』東京法令出版
- 蒲谷宏川口義一坂本恵(2002)『敬語表現』大修館書店
- 韓美卿(2009)『韓国語の敬語入門—テレビドラマで学ぶ日韓の敬語比較』大修館書店
- 金田一春彦(2001)『ホンモノの日本語を話していますか』角川書店
- 金田一春彦(2002)『日本語反省してみませんか』角川書店
- 金谷武洋(2010)『日本語には敬語があつて主語がない』光文社新書
- 小寺弘子早川幸子,山本雅枝(1995)「要求表現についての一考察」『日本語教育方法研究会誌』2.1
- 小林幸江(1999)「第1章 依頼・命令・勧誘」『日本語教師養成通信講座 日本語の文法2』アルク
- 笛川洋子(1999)「アジア社会における依頼のポライトネス(for you or for me)について—日本語・韓国語・中国語・タイ語・インドネシア語の比較』『親和國文』34
- 関根和枝(2007)「『～てください』の機能について—『～てください』は依頼か—」『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』2
- 津田早苗(1999)『談話分析と文化比較』リーベル出版
- 任英哲井出里咲子(2004)『箸とチョッカラク 言葉と文化の日韓比較』大修館書店
- 洪珉杓(2007)『日韓の言語文化の理解』風間書房
- 松田雄一金英姫李周殷朴銀南(2007)「韓国人日本語学習者に見られる pragmatics トランプファ—依頼場面における韓国語の請誘形「～자」の影響について—」茨木大学留学生センター紀要5
- 森勇太(2011)「申し出表現の歴史的変遷—謙譲語と与益表現の相互関係の視点から—」『日本語の研究』7.2
- 山田敏弘(2013)『その一言が余計ですか—日本語の「正しさ」を問う』ちくま書房
- 和田由里惠堀江薰北原良夫吉本啓(2008)「日本語学習者の依頼におけるポライトネスストラテジー」『東北大

学高等教育開発推進センター紀要』3

【参考にした韓国語教材・シナリオ集】

- 李允希著、梅田博之監修(2002)『韓国語マラソン』テキスト1~6アルク
李昌烈(2006)『韓国語上達の近道』白帝社
郭在容著、山坂れみな翻訳(2004)『僕の彼女を紹介します』アーティストハウス
菅野裕臣監修、朝鮮語学研究会編(1996)『朝鮮語を学ぼう』三修社
木内明(2009)『アンコールまいにちハングル講座 パート I』日本放送出版協会
許秦豪著、吉野ひろみ翻訳(2005)『韓国語完全対訳シナリオ 四月の雪』ワニブックス
金東漢・野間秀樹(2008)『アンコールハングル講座 パート I』日本放送出版協会
金東漢・張銀英(2008)『アンコールハングル講座 パート II』日本放送出版協会
金裕鴻(2002)『使える・話せる・韓国語単語』金裕鴻韓国語勉強会編 語研
張銀英『シャドウイングで学ぶ韓国語短文会話500』スリーエーネットワーク
任瑚彬洪璟杓・張淑人共著、蔡洙靜訳(2007)『韓国語文法』延世大学出版社
韓惠景(2008)『会話で学ぶ韓国語文未表現』アルク
白峰子著、大井秀樹訳、野間秀樹監修(2006)『韓国語文法辞典』三修社
睦宗均李延玉李裕旋小西敏夫秦秀美朴商煜翻訳、生越直樹翻訳監修、グループ・ジャマシイ編(2011)『韓国語版 日本語文型辞典』くろしお出版 時事日本語社
村松賢(2007)『韓国語急がば回れー知的“韓流”的ネタ本』白帝社
油谷幸利(2005)『日韓対照言語学入門』白帝社
油谷幸利(2007)『間違いやすい韓国語表現100 中級編』白帝社
油谷幸利門脇誠一松尾勇高島淑郎編(2004)『朝鮮語辞典』小学館・韓国金星出版社
デジタル大辞泉 小学館

논문투고일 : 2013년 12월 10일
심사개시일 : 2013년 12월 20일
1차 수정일 : 2014년 01월 09일
2차 수정일 : 2014년 01월 15일
게재확정일 : 2014년 01월 20일

〈要旨〉

日本語「～てください」と韓国語「要求表現」の比較

韓国語話者の「～てください」表現が失礼な響きを与えると先行研究で報告されている。その原因として、まず、日韓のボライティネスの相違が考えられる。命令も依頼も、話し手の要求を相手に伝え、相手の行動につなげることであるが、日本語ではそこに相手との心的距離が存在するため、ネガティブ・ボライティネスを使用し、韓国語話者はポジティブ・ボライティネスを多用するため、使用場面で摩擦が起きる可能性がある。

まず、韓国語の丁寧な命令形と依頼表現を「～てください」と日本語にすることに問題があると考える。日本語の「～てください」は上位者に対しては失礼に響く。また、韓国語の依頼の場面で使用される表現は多様であるが、日本語に直訳すると依頼としてふさわしくないものが見られる。中級以上の韓国語教材の「～あ～～주세요」、「～あ～～주십시오」の日本語訳として、直訳では現れない「敬語+a」表現で訳出している例が見られることから、日本語話者は、丁寧な命令、依頼をする場合、直接表現の「～てください」ではなく、婉曲表現を使用していることがわかる。

「～てください」表現を通して直接自分の要求を伝えることは可能であるが、相手に対して、その要求が受け入れられたらありがたいという「恩恵」の気持ちちは含まれない。日本語で依頼をする場合は「敬語+a」表現を使用することが必要で、相手への「配慮」をさりげなく表しながら、本音が要求であることを包み隠すことが日本語らしいのである。日本語の依頼表現において「敬語+a」表現はなくてはならないものであると考える。

今後の課題として、「～てください」表現と同様に、恩着せがましい印象を与える「～てあげます」「～てさしあげます」表現についても調査し、マイナスの印象を与える原因を究明する。これらの結果から日韓授受表現の相違を明らかにすることを目標とする。さらに丁寧度の高い依頼表現の使用のためには、韓国語には存在しない、「～てもらう」「～ていただく」表現の問題点も明らかにしたいと考える。

A Comparison of ‘te-kudasai’ and Korean expression of request

Japanese expressions tend to have Korean counterparts which are very similar in terms of sentence structure. However there are in some cases slight differences in meaning between Japanese expressions and Korean expressions.

When Korean learners of Japanese use the expression ‘-tekudasai’ to make a request, Japanese native speakers often feel it sounds impolite. This may cause troubles in case of asking a favor.

The purpose of this study is to investigate how the Japanese ‘-tekudasai’ correspond to Korean expressions, such as ‘-세요’, ‘-주세요’. To avoid causing misunderstandings, this paper will demonstrate a polite strategy of asking a favor in Japanese using ‘-tekudasai’, which will be helpful to Korean learners of Japanese.